平成２７年度

決 算 報 告

■決算概要

平成27年度の一般会計の決算額は、歳入が209億6,500万円、歳出が201億4,781万円で、翌年度へ繰り越すべき財源8,490万円を差し引いた実質収支は7億3,229万円の黒字となりました。

平成27年度決算の特徴として、元気なまちづくりのため、補助事業を活用し道路や橋などのインフラ整備を積極的に行ったことから、歳入歳出ともに前年度より増額となりました。

歳入は、前年度に比べ7億818万円の増額となりました。これは消費増税に伴う地方消費税交付金の増、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金などによる県支出金の増、公共事業基金の繰入れに伴う繰入金の増などによるものです。また、地方債はあさぎり体育館耐震補強事業の実施などに活用し、合併特例債が2億1,960万円の増となりましたが、辺地対策事業債が8,590万円の減、臨時財政対策債が9,400万円の減となり、地方債全体としては前年度とほぼ同額の8億4,020万円となりました。

歳出は、前年度に比べ5億97万円の増額となりました。これは道路や橋などのインフラ整備に伴う普通建設事業費の増、市内消費喚起プレミアム商品券及び市内宿泊旅行者向けクーポン券発行事業の実施などによる補助費の増、小川区大渕地区コミュニティ施設整備基金への積立てによる積立金の増などによるものです。

【企画財政課】

●平成27年度一般会計の主な事業●

市有財産管理事業

事業費 4億9,767万円

旧岐阜県立下呂温泉病院跡地の購入や旧馬瀬給食施設の解体工事などを行いました。

児童手当給付

事業費 4億7,525万円

「次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する」ことを目的に、児童を養育している方に手当を支給しました。

あさぎりスポーツ公園施設整備事業

事業費 1億8,570万円

利用者の安全確保、災害時の避難所機能向上のため、あさぎり体育館の耐震補強を行いました。

防災・安全交付金橋梁事業

事業費 1億5,510万円

老朽化する橋梁の長寿命化を図るため、防災・安全交付金を活用し、点検・修繕計画策定、補修工事を行いました。

コミュニティバス運行事業

事業費 1億798万円

萩原・下呂・金山・馬瀬地域の交通の利便性向上を図るため、コミュニティバスを運行しました。利用者数は、4地域で年間延べ191,552人でした。

ごみ処理施設維持補修費

事業費 1億771万円

ごみ処理が円滑に行えるよう、クリーンセンターなどの保守点検、補修工事を行いました。

過年補助災害復旧事業

事業費 1億421万円

平成26年度の災害により損壊した道路や橋の復旧工事を行いました。

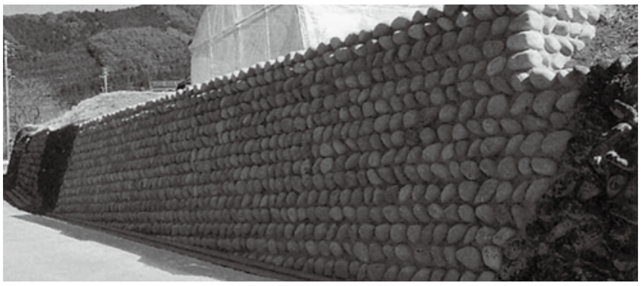
観光戦略強化事業

事業費 1億300万円

民間団体と協力して誘客活動を行い、観光客の増加に努めました。

市道補修事業

事業費 1億3万円



市道の補修や維持工事（市内253箇所）を行い、安全・安心な交通の確保と沿道住民の生活環境保全に努めました。

金山中学校屋内運動場改修事業

事業費 9,975万円

老朽化した金山中学校体育館を改修し、教育環境の改善を図りました。